

HITACHI
Inspire the Next



Cosminexus
コズミネクサス

開発・運用時のガイド [UNIX]

導入母体に起因する留意点

2015.
October **10**

はじめに

本書は、開発・運用フェーズで使用するドキュメントとして、uCosminexus Application Server の導入母体に起因する留意点について記述しています。

1. 対象とする読者

本書は、uCosminexus Application Server を使用し、システムを設計・構築・運用する立場にある方を対象としています。

2. 対象とする製品

P-9W43-7K91 uCosminexus Application Server

P-1M43-7K91 uCosminexus Application Server

■ 商標類

- HITACHI、Cosminexus、uCosminexus は、(株)日立製作所の商標または登録商標です。
- AMD は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- IBM、AIX は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
- Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。
- UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 製品名と機能名の表記

本書では、製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
Application Server	uCosminexus Application Server
Component Container	Cosminexus Component Container

■ 発行元

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 IT プラットフォーム事業本部

All Rights Reserved. Copyright (C) 2015, Hitachi, Ltd.

目次

1 Application Server 09-70 に関する注意事項	1
<hr/>	
1.1 Component Container.....	2
1.1.1 JavaMail を使用する場合の注意事項	2
1.1.2 EJBClient を使用する場合の注意事項	2

1 Application Server 09-70 に関する注意事項

Application Server 09-70 に関する注意事項を説明します。

本章の構成

1.1 Component Container

1.1 Component Container

1.1.1 JavaMail を使用する際の注意事項

MimeUtility API の仕様変更

変更内容

javax.mail.internet.MimeUtility クラスの encode メソッドでエンコード方式に"base64"を用いた場合、Component Container のバージョンおよび戻り値として得た OutputStream に対する close メソッドの実行有無によって、末尾への改行("\r\n")付与の有無が次のように異なります。

Component Container のバージョン	OutputStream.close メソッドの実行の有無	末尾への改行付与
09-00 以前	有	付与しない
	無	付与しない
09-50 以降	有	付与する
	無	付与しない

互換性を重視したシステムへ移行する場合に必要な作業

MimeUtility.encode メソッドの戻り値として得た OutputStream の末尾に不要な改行が存在する場合があります。不要な改行が存在する場合は、改行文字を削除してください。

推奨機能を使用したシステムへ移行する場合に必要な作業

互換性を重視したシステムへ移行する場合に必要な作業と同じです。

影響を受けるもの

以下の条件がすべて重なるアプリケーションに影響がありますので、上記の必要な作業を実施してください。

- MimeUtility.encode メソッドを使用して Base64 エンコードを実行している。
- 戻り値として得られる OutputStream で close メソッドを実行している。

1.1.2 EJBClient を使用する際の注意事項

cjclstartap コマンドの UDP ブロードキャスト通信について

cjclstartap コマンドは、ORB 機能で利用するスマートエージェントを探すため、定期的に UDP ブロードキャスト通信を行います。

この通信を抑止するには、usrconf.properties (Java アプリケーション用ユーザプロパティファイル) の vbroker.agent.enableLocator キーに false を指定する必要があります。

—以上—